

カラーコーディネーター検定試験
第3版 2級公式テキスト 【正誤表】

2019年7月26日現在

刷版	ページ	訂正箇所	本書の記述（誤）	訂正後（正）	訂正日
第1刷 第2刷 第3刷	10	左側 上から10行目	③力量性（重い—軽い、 <u>暖かい—冷たい</u> 、など）	③力量性（重い—軽い、 <u>硬い—柔らかい</u> 、など）	平成28年8月25日
第1刷 第2刷 第3刷	14	右側 下から3行目	財団法人日本色彩研究所	<u>一般</u> 財団法人日本色彩研究所	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	14	右側 下から1行目	<u>Jafca Basic Color Code</u>	<u>JAFC A BASIC COLOR CODE</u>	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	39	左側 上から9行目	<u>1972年</u> のエナジー・クライシス（オイルショック）以降、	<u>1973年</u> のエナジー・クライシス（オイルショック）以降、	平成27年8月25日
第1刷 第2刷 第3刷	41	右側 下から7行目	<u>ティモ&スオマライネン</u> 兄弟	<u>ティモ&トゥオモスオマライネン</u> 兄弟	平成27年8月25日
第1刷 第2刷 第3刷	41	左側 下から1行目	ロンドンの「 <u>テートモダン</u> 」は	ロンドンの「 <u>テート・モダン</u> 」は	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	41	右側 上から1行目	<u>ジル</u> ・ギルバート・スコット	<u>ジャイルズ</u> ・ギルバート・スコット	平成28年6月6日
第1刷 第2刷 第3刷	41	右側 上から11行目	荒削りな壁に、ドーム型の屋根	荒削りな壁に、 <u>銅製の</u> ドーム型の屋根	平成28年8月23日

刷版	ページ	訂正箇所	本書の記述（誤）	訂正後（正）	訂正日
第1刷 第2刷 第3刷	59	右側 上から9行目	ビルベルジン	ビリベルジン	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷	60	右側 図5	■分断色の効果／新編「色ハンドブック第2版」 <u>1241</u> ページより 改図引用	■分断色の効果／新編「色彩科学ハンドブック第2版」 <u>124</u> ページより 改図引用	平成28年7月29日
第1刷 第2刷 第3刷	76	左側 下から6行目	まったく同じパターンか <small>か</small> 小さい場合は同化、	まったく同じパターンが <small>が</small> 小さい場合は同化	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	81	左側 上から3行目	L錐体と <u>S</u> 錐体の反応の差	L錐体と <u>M</u> 錐体の反応の差	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	81	左側 下から20行目	<u>S</u> 錐体の反応の差を	<u>M</u> 錐体の反応の差を	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	100	図24	Pu <u>g</u> illary_area(mml) log illu <u>m</u> in <u>a</u> nce(lx)	Pu <u>p</u> illary_area(mml) log illu <u>m</u> in <u>a</u> nce(lx)	平成27年8月25日
第1刷 第2刷 第3刷	106	右側 下から10行目	光源の光色を表すのか <u>相関色温度</u> で、単位はK（ケルビン）である。	光源の光色を表すのか <u>色温度</u> で、単位はK（ケルビン）である。 ※相関を削除	平成28年7月29日
第1刷 第2刷 第3刷	107	右側 上から4行目	<u>色を出す光</u>	<u>光色の光源</u>	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	108	左側 下から4行目	対象光源の色の見えが	対象光源 <u>下</u> の色の見えが	平成28年5月30日

刷版	ページ	訂正箇所	本書の記述（誤）	訂正後（正）	訂正日
第1刷 第2刷 第3刷	110	表3	R10（緑） R11（青） R12（赤）	R10（黄） R11（緑） R12（青）	平成27年8月25日
第1刷 第2刷 第3刷	114	左側 下から18行目	<u>暖かい</u> 光色が	<u>暖かみのある</u> 光色が	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	114	左側 下から7行目	基本的に色温度の低い <u>暖かな</u> 光が、	基本的に色温度の低い <u>暖かみのある</u> 光が、	平成28年7月29日
第1刷 第2刷 第3刷	115	右側 上から8行目	<u>暖かい</u> 光を局部照明に加えた	<u>暖かみのある</u> 光を局部照明に加えた	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	117	左側 上から1行目	対照的に <u>暖かい</u> 光で	対照的に <u>暖かみのある</u> 光で	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	117	左側 上から7行目	できるだけ <u>暖かい</u> 光で	できるだけ <u>暖かみのある</u> 光で	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷	118	右側 上から2行目	これが <u>試験</u> 光源	これが <u>試料</u> 光源	平成30年9月12日
第1刷 第2刷 第3刷	119	左側 下から9-10行	住宅で $90 < Ra \leq 80$ が好ましく、オフィスや学校においては、 $80 < Ra \leq 60$ でも許容できるとされている。	住宅で $80 \leq Ra \leq 90$ が好ましく、オフィスや学校においては $60 \leq Ra \leq 80$ でも許容できるとされている。	平成28年8月23日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷	119	左側 上から9行目	それは <u>試験</u> 光源に比べ、	それは <u>試料</u> 光源に比べ、	平成30年9月12日

刷版	ページ	訂正箇所	本書の記述（誤）	訂正後（正）	訂正日
第1刷 第2刷 第3刷	153	右側 下から13-14行目	熱可塑性樹脂様	熱可塑性樹脂用	平成26年10月16日
第1刷 第2刷 第3刷	161	左側 上から1行目	SCI : <u>Specula</u> Component Included	SCI : <u>Specular</u> Component Included	平成27年10月5日
第1刷 第2刷 第3刷	161	左側 上から3行目	SCE : <u>Specula</u> Component Excluded	SCE : <u>Specular</u> Component Excluded	平成28年7月29日
第1刷 第2刷 第3刷	168	左側 上から8行目～9 行目	<u>色相環が同心円となるか、等色相線が等間隔の放射線となるかどうか</u> が、	<u>色相環が等間隔の同心円となるか、等色相線が等間隔で放射する直線となるかどうか</u> が、	平成28年8月23日
第1刷 第2刷 第3刷	178	右側 上から17行目	見えてこない効の一面がある。	見えてこない功の一面がある。	平成28年7月29日
第1刷 第2刷 第3刷	182	右側 上から11行目	設立は <u>1954</u> 年である。	設立は <u>1953</u> 年である。	平成27年10月5日
第1刷 第2刷 第3刷	188	右側 下1行目	図7でも、2色の色差属性によって結果が異なっている。	図7でも、2色の色差が主に、色相、明度、クロマのどれで起こるかによって結果が異なっている。	平成28年8月23日
第1刷 第2刷 第3刷	196	右側 下から13行目	<u>日本流行色協会、JBCC</u> が	<u>日本流行色協会 JBCC</u> が	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	202	右側 下から4行目～5 行目	この情報を刺激（stimulus）と言 <u>い</u> 、一般的には外界に生じる物理現象が	この情報を刺激（stimulus）と言 <u>う</u> 。一般的には、 <u>心理</u> は外界に生じる物理現象が	平成28年5月30日
第1刷 第2刷 第3刷	212	左側 上から12行目	米国の心理学者 <u>オスグッド</u> が	米国の心理学者 <u>オズグッド</u> が	平成27年9月29日

刷版	ページ	訂正箇所	本書の記述（誤）	訂正後（正）	訂正日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 第6刷	232	図 11	赤の ^{すそこおどし} 裾濃威の事例	赤の ^{すそこおどし} 裾濃緘の事例	平成 31 年 4 月 10 日
第1刷 第2刷 第3刷	233	図 12	類似トーン（隣接色相、ナチュラル配色） dp-O1 dp-O3	類似トーン（類似色相、ナチュラル配色） dk-O1 dp-O3	平成 28 年 7 月 29 日
第1刷 第2刷 第3刷	233	図 15	Dp-R3 vv-O1 vh-O3 lt-Y2	vl-R3 vv-O1 vh-O3 lt-Y2	平成 28 年 7 月 29 日
第1刷 第2刷 第3刷	291	左側 下から 9 行目	ティモ&スオマライネン兄弟	ティモ&トゥオモスオマライネン兄弟	平成 28 年 8 月 25 日
第1刷 第2刷 第3刷	304	右側 下から 13 行目	SCI(Specula Component Included)	SCI(Specular Component Included)	平成 27 年 10 月 5 日
第1刷 第2刷 第3刷	304	右側 下から 14 行目	SCE(Specula Component Excluded)	SCE(Specular Component Excluded)	平成 27 年 10 月 5 日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷	306	FAX 通信送付先	E-mail:sakoda@nen-yu.co.jp	E-mail:m.sakoda@nen-yu.co.jp	平成 28 年 7 月 29 日